

第1885回埼玉県教育委員会定例会

- 1 日 時 令和2年6月30日(火) 午前10時開会
午前10時43分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 高田教育長、上條教育長職務代理者、後藤委員、伊倉委員、石川委員、萩原副教育長、佐藤教育総務部長、日吉県立学校部長、関口市町村支援部長、豊田県立学校人事課長、島村財務課長、小出高校教育指導課長、片桐市町村支援部参事兼小中学校人事課長
栗原書記長、古澤書記、森山書記
- 4 会議の主宰者 高田教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 高田教育長が、石川委員を議事録の署名者に指名した。
- (2) 議事
- 第53号議案 埼玉県立高等学校通則の一部を改正する規則について 上程
豊田県立学校人事課長 (提案理由、現行規則の内容、改正の内容及び施行期日
について説明)
- 上條教育長職務代理者 中学校等卒業予定者数の減少率を計算しますと、2.31%で、公立高校の募集人員の減少率が2.25%となっています。中学校等卒業予定者数の減少率よりも公立高校の募集人員の減少率の方が低いので、減少率で見ると、生徒にとって有利になります。適切な減員数だと思います。一方で、中学校等卒業予定者数の地域的なバランスも考慮したと先ほど説明がありました。一方、鉄道路線など通学の利便性も考慮して、減員する高校を決定しているのでしょうか。

豊田県立学校人事課長 各学校では、生徒がどの中学校を卒業し、どの地域から通学しているか把握しております。各高校の校長から、丁寧に聞き取りを行った上で、減員する高校を決定しております。

上條教育長職務代理者 通学の利便性は重要な事ですので、その点が配慮されているのは良いと思います。

後藤委員 地域の現状を踏まえて、募集人員を決定したものと理解しました。小中学校では、生徒数が減少していることを受けて、再編整備が進んでいます。そうした中で、高校の募集人員が減ると、この学校は無くなってしまわないかと、地域の方々が不安を抱くかもしれません。そうではなくて、今回の減員は、中学校等の卒業予定者数の減少に合わせた一時的な減員だと、地域の方々に理解されるような見せ方、示し方をしてほしいと思います。決して、再編整備するための1歩と思われないようにしてほしいと思います。

豊田県立学校人事課長 非常にデリケートな問題と認識しています。減員が発表されるとハレーションが起きることも考えられます。そういうことがないように、各学校と丁寧に対応していきたいと考えております。

○ 全出席委員異議なく本案原案どおり可決

(3) 報告事項

ア 県議会令和2年6月定例会提出予定案件について

島村財務課長 (提出理由、専決処理した理由及び事務処理の状況について説明)

伊倉委員 修学旅行等のキャンセルに伴う保護者負担軽減事業について、非常に良い取組だと思います。現在の県立高校の修学旅行は、どのような状況になっているのでしょうか。

島村財務課長 実際に修学旅行をキャンセルした学校が2校あります。その他の学校については、秋以降に延期するなどして対応している状況です。今後、修学旅行のシーズンとなって、中止せざるを得ない状況となったとき、その判断を後押ししていくための事業と考えております。

上條教育長職務代理者 新型コロナウイルスの影響で、学習の遅れをいかに取り

戻すかが、大きな課題となっています。現場の先生方の負担も、大変大きくなっていると思います。したがって、スクール・サポート・スタッフを配置する市町村立小中学校外部人材配置事業と学習指導員を配置する新型コロナウイルス感染症・学習支援事業は、現場の職員にとって、大変有り難い事業だと思いますし、非常に重要な事業だと思います。資料に予算額の記載がありますが、それぞれ何人ぐらい配置する予定でしょうか。また、配置する人材の採用について、現在、厳しい状況にあると思います。特に、指導力のある方を配置する必要があると思いますが、採用の見込みや考えについて教えてください。

島村財務課長 配置する人数について、スクール・サポート・スタッフは、市町村立小中学校に各校1名を配置します。ただし、当初予算において措置しているものもありますので、追加補正予算では781校に781名を配置する予定です。学習指導員については、各市町村立小中学校に、小学校に2名、中学校に1名を配置します。人数としては、1,760名を配置する予定です。採用の確保につきましては、各市町村教育委員会が採用するものですが、これだけの規模となっていますので、例えば、スクール・サポート・スタッフを新型コロナウイルスの影響でアルバイトができなくなった大学生に担ってもらったり、国の人材バンクを活用したり、様々な工夫をして地域の人材を採用するものと考えます。

上條教育長職務代理者 御説明のとおり、大変な人数の採用だと思います。採用する人の質もそれなりのレベルで確保する必要があります。ホームページ上で募集をかけるなど、様々な工夫を凝らして人材を確保してほしいと思います。予算は確保したけど、人が集まらなかったということがないように、現場のサポートを強化してもらいたいと思います。

後藤委員 スクール・サポート・スタッフも学習指導員も非常に良い取組だと思います。スクール・サポート・スタッフについては、学生が安易に子供たちと接するのではなく、教員としての心構えや、どんな姿勢を持って子供たちと向き合えば良いか、事前の研修を実施するなど、県として、しっかり教え込んで、それぞれの市町村教育委員会で配置してほしいと思います。

高田教育長 今、学生が、学校で教育実習をできない状況にあります。文部科学省では、この学習指導員として学校に入ることを、教育実習の一部として認めるとしています。現場の実習として、子供たちの学習支援に当たらせたいと思っています。

石川委員 先ほど上條委員から、予算があっても人が採用できないことがないようにとのお話がありました。新型コロナウイルス感染症防止のためのマスクや消毒液についても、予算があっても購入しづらい状況がありました。このコロナ禍は、数年続くとも報道で言われています。その中で、県として、感染症防止のためのマスクや消毒液を備蓄するなどの検討はあるのでしょうか。それとも既にそのような措置がされているのでしょうか。

島村財務課長 今回の追加補正予算の中に、学校の管理運営費があります。管理運営費は、各校の校長の裁量で執行できる予算で、例えば、石川委員の御指摘の衛生用品ですとか、学習の遅れを取り戻すための教材費ですとかを購入できる予算です。当面の間は、各校の必要に応じて、管理運営費の中で購入してもらいます。現時点では、県で、まとめてストックしておくような議論には至っておりません。学校現場の状況に応じて、柔軟に対応してもらいたいと考えています。

高田教育長 学校の管理運営費は、生徒数など学校の規模に応じて、150万円程度から400万円程度の単位で、学校が自由に使える資金を与えるものです。学校が、必要なものを購入できるようになっています。

伊倉委員 運動部活動における全国大会の代替大会の開催支援事業についてです。既に代替する大会の主催者・団体は計画しているのでしょうか。また、今後、代替する大会の一覧は、公表されるのでしょうか。

島村財務課長 開催団体として、高校野球の県高野連と高校総体の県高体連があります。県高野連につきましては、8月8日から試合が実施されると聞いています。県高体連につきましては、高校総体の30競技のうち、25競技が何らかの代替大会を検討している状況です。大会を実施する場合は、8月中に実施する予定と聞いています。現在検討中のところですが、県高野連と県高体連の

それぞれの大会に補助をしていこうと考えています。したがって、現時点では、具体的な競技を列挙することはできませんが、このような検討状況になっております。

イ 令和3年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における中学校等の臨時休業等を踏まえた配慮事項及び学校選択問題実施校について

小出高校教育指導課長 （提出理由、中学校等の臨時休業等を踏まえた配慮事項及び学校選択問題実施校について説明）

上條教育長職務代理者 資料1 ページ(2)のイに「学力検査の出題範囲等については、中学校3年生等の学習状況を踏まえて、出題範囲を縮小する方向で検討する。」とありますが、中学校によって学習状況に、ばらつきがあると思います。そのばらつきについて、どのように調整するのでしょうか。例えば、一律にここの範囲を出題しないとするのか、それとも、各学校の任意に任せるのか。中学校の学習状況によっては、有利・不利が生じてしまわないか心配ですが、この点をどのように考えていますか。

小出高校教育指導課長 出題範囲についての具体的な配慮の仕方については、現在検討しているところですが、有利・不利が生じないような形での配慮を検討しています。

上條教育長職務代理者 中学校によって、扱っている教科書の違いもあります。単元も多少、異なっています。そのようなところも十分に配慮して、具体的な出題範囲を決めようという考えはありますか。

小出高校教育指導課長 上條委員のお話のとおり、教科書の違いや学習内容の違いも含めて、配慮事項を決めたいと考えています。

上條教育長職務代理者 中学生にとっては、非常に不安だろうと思います。したがって、なるべく早めに公表した方がいいと思います。一方で、出題しない範囲を勉強しなくてもいいと思われても困ります。その辺りを上手く両立させるような適切な対応をお願いしたいと思います。

伊倉委員 上條委員のお話にもありましたが、この配慮事項は、いつ公表される

のでしょうか。私自身、志願者調査書を保護者として確認した覚えがあります。

3年生で部活動ができなくて、調査書に活動を記載できないのは親としても心配なところですが。御説明のあった1年生や2年生の活動が成績に反映されるといった配慮事項は、本人や保護者にできるだけ早く伝えてあげてほしいと思います。

小出高校教育指導課長 調査書の取扱いについては、8月下旬にホームページで公表する予定です。さらに、冊子にして9月下旬に配布する予定です。

伊倉委員 保護者は、県のホームページを余り見ないと思います。学校を通して周知するなど、しっかり広報してほしいと思います。

高田教育長 本日の報告の内容については、この会議の後、報道機関に説明する予定となっています。また、先ほどの課長の説明のとおり、この配慮事項を踏まえて、各学校が選抜の基準を定めますので、定めた基準がホームページに公表されるのは8月下旬となります。この配慮の方針については、本日、報道発表いたします。また、学力検査の出題範囲の具体的な内容については、次回の会議で報告をさせていただいて、その後、公表したいと考えています。

(4) 次回委員会の開催予定について

7月10日（金）午前10時

<非公開会議結果>

第54号議案 教職員の人事について

川口市教育委員会学校教育部指導課主幹兼教育研究所副所長櫻井秀子を、7月1日付で川口市立戸塚北小学校長として発令する人事案を決定しました。